

微生物殺菌剤

バチスター



バチルス ズブチリス水和剤 100g、500g入

有効成分及び含有量: バチルス ズブチリス Y1336株の生芽胞… 1×10^9 CFU/g 水和剤

バチスター☆はアリスト ライフサイエンス株式会社の登録商標です。

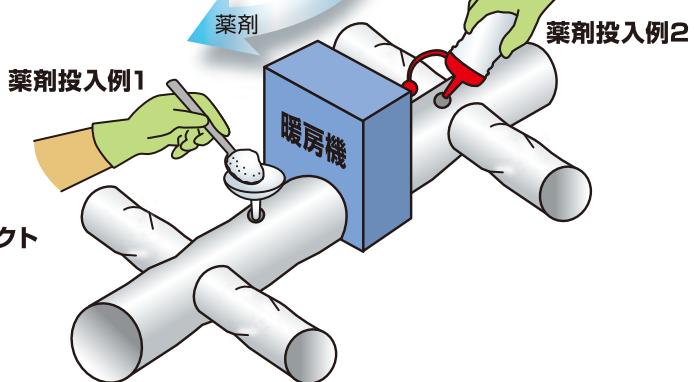
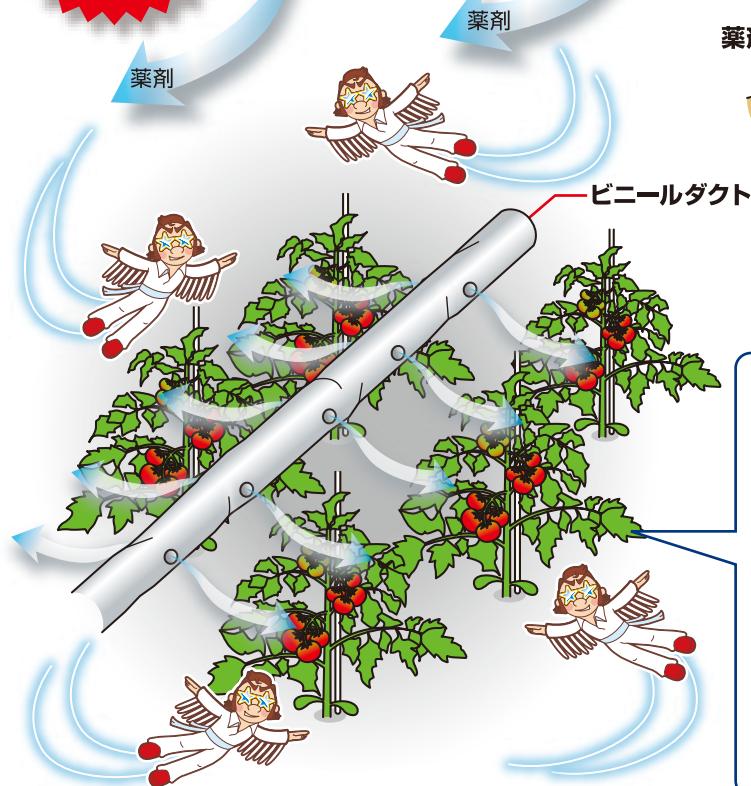
予防に!
灰色かび病の
うどんこ病・
野菜類の



スワルスキーや
スパイカルEXなどの
生物農薬と相性
バッチャリ!!!

トマトと
ミニトマトに
適用拡大

ダクト内投入でカンタン! 水要らずの灰かび予防♪



病原菌防除イメージ

バチスター処理区

病原菌



無処理区

病原菌



病原菌は遠慮してもらおうぜベイビー!!

微生物殺菌剤



成 分: バチルス ズブチリス Y1336株の生芽胞 1×10⁹CFU/g
性状: 褐色水和性粉末 包装: 100g, 500g入

特長

- 本剤は、バチルス ズブチリスY1336株を有効成分とする微生物殺菌剤です。
- 病害発生前～発生初期に予防的に散布することにより、後から侵入してきた病原菌の感染を防ぎます。
- 納豆菌の一種が有効成分ですので、環境に対する影響、各種残留問題、人畜に対する毒性の心配がありません。
- JAS法に適合し、農薬散布回数にカウントされませんので、有機栽培・特別栽培農産物でも使用可能です。
- 多くの化学農薬と併用が可能です。
- 他の薬剤耐性菌対策に有効です。
- 使用回数に制限がなく、収穫前まで使用できます。

適用病害と使用方法

(2017年2月現在の登録)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	バチルス ズブチリスを含む農薬の総使用回数
かんきつ	灰色かび病		200～700 ℥/10a				
マンゴー	軸腐病						
野菜類 (トマト、ミニトマトを除く)	うどんこ病 灰色かび病	1000倍	100～300 ℥/10a	発病前～発病初期	—	散布	—
トマト ミニトマト	うどんこ病 灰色かび病 葉かび病						
花き類・観葉植物	うどんこ病						

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	バチルス ズブチリスを含む農薬の総使用回数
トマト ミニトマト	灰色かび病	15g/10a/日	発生前～発生初期	—	ダクト内投入	—

⚠ 使用上の注意事項

- 散布液の調製は、本剤の所定量を少量の水に溶かし、次に所定量の水を加えよく攪拌すること。
- 本剤の有効成分は生菌であるので、散布液調製後はできるだけ速やかに散布すること。また、開封後は使いきることが望ましいが、やむを得ず保管する場合には、できるだけ早く使いきること。
- 本剤は保護作用が強く予防効果が主体なので、発病前～発病初期に7日～10日間隔で散布すること。
- 本剤を使用する場合、低温下(約10°C以下)では有効成分の活動が低下し効果が劣るので、低温が予想される場合には使用をさけること。
- 散布により、果実に汚れが生じることがあるので、収穫期の散布には注意すること。
- マンゴーに使用する場合には、果皮に変色が生じることがあるので、収穫期の散布には注意すること。
- ダクト内へ投入する場合は以下のことに注意すること。
 - ①1ヶ月当たり450g/10aになるよう、暖房機などのダクト取り付け口付近からダクト内に投入すること。
 - ②暖房機などが数時間以上運転される条件下で使用すること。
- 本剤は他剤と混用すると十分に効果が発揮されない場合があるので、注意すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠ 安全使用上の注意事項

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、散布液調製時及び使用の際は保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用すること。
作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけること。
- ダクトによる散布の際は、送風停止中に本剤をダクト内に投入すること。
- ダクトによる散布中はハウス内へ入らないこと。また、ダクトによる散布終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室すること。
- ダクトによる散布後にハウス内で作業する際は、送風機を作動させないこと。
- 夏期高温時の使用をさけること。

保管…直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。

農薬は正しく使いましょう。 ●ラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
●空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

アリストライフサイエンス株式会社
〒104-6591 東京都中央区明石町8-1
TEL.03-3547-4415 FAX.03-3547-4695
<http://www.arystalifescience.jp/>